

## 危機管理演習における要配慮者の対応訓練を実施【減災対策協議会】

### ～減災対策協議会で決定した、重点取組の訓練～

平成28年9月20日、山形河川国道事務所において、自治体職員を対象としたロールプレイング方式（事前にシナリオを知らされていない）による危機管理演習を実施しました。内容として、戦後最大洪水である羽越水害（昭和42年8月）を超える規模の降雨をもとにした、避難勧告・指示発令、広域避難検討、情報伝達・収集など、大規模災害の対応訓練を行いました。

今回の演習の特徴として、岩手県や北海道で大きな被害をもたらした台風第10号（H28.8）で浮き彫りとなった「要配慮者利用施設」の対応について、減災対策協議会で決定した「重点取組」でもある要配慮者対応をシナリオに反映し、避難準備情報等の発令時期や範囲、垂直避難を含めた避難誘導方法などを確認しました。

### 平成28年度 最上川上流危機管理演習

- 日時 9月20日(火) 9:30～16:00
- 場所 山形河川国道事務所 大会議室、災害対策室
- 出席者 演習部:村山市、東根市、天童市、寒河江市、河北町、西川町  
統監部:山形市、上山市、中山町、山辺町、大江町、朝日町、  
山形県、山形地方气象台、山形河川国道事務所
- 内容 羽越水害を超える規模の降雨を基にした、避難勧告・指示発令、要配慮者対応、広域避難検討、情報伝達・収集、大規模災害対応を訓練

#### ■付与の例

「こちらは、特老ホーム ○○○です。  
入所者を2階に移動させています。  
手間取っているため、職員派遣をお願いしたい。」



#### ■想定する行動

- ・山形河国から浸水想定区域図を入手
- ・垂直避難か、浸水区域外への避難か？
- ・要配慮者の避難手段の検討、情報伝達の実施



▲ 統監部（要配慮者利用施設役）



▲ 演習部（天童市）

## 自主防災会研修【白鷹町、山形河川国道事務所】

### ～（白鷹町鮎貝地区）最上川の堤防、危険箇所視察の実施～

白鷹町鮎貝地区自主防災会において、最上川の氾濫を想定した研修会（10月24日）が開催され、堤防の危険箇所や洪水浸水想定区域を視察しながら、防災意識の向上に取り組みました。

鮎貝地区では、羽越水害（昭和42年8月）での堤防決壊による甚大な被害を踏まえ、「行政の対応には限界がある。いざという時の高齢者への声掛け、連絡体制の在り方を検討していく」などの意見が出されました。



▲ 危険箇所の視察状況



▲ 洪水浸水想定区域の確認状況

## 市内全域を対象とした市民参加型避難訓練の実施【南陽市】

### ～H25,H26の豪雨被害を今後の教訓に～

南陽市では、H25・26の豪雨被害を忘れないようにと、10月16日（日）に住民と行政が一体となり、大雨で吉野川や織機川の水位が上昇し、市内全域に避難勧告が出されたとの想定で、地区ごとに避難誘導などの訓練を行いました。

市内全域を対象にした訓練は初めてで、125地区の約2,000人が参加し、参加者からは「被害を経験したからこそ、日頃から万一来た心構えを持っておくことが大切だ」などの意見が出されました。



▲ 炊き出し訓練の実施状況



▲ 避難訓練の実施状況



▲ 避難所運営訓練の実施状況

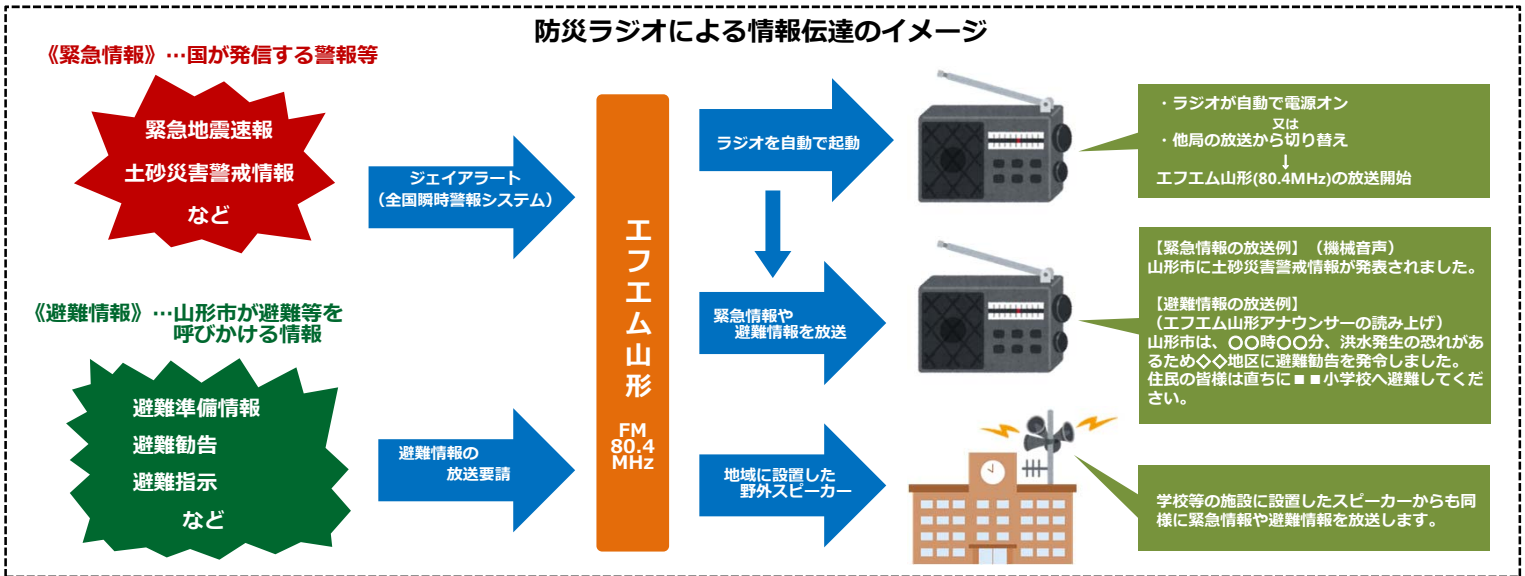
## 防災ラジオ配備事業【山形市】

### ～携帯電話やスマートフォンを持たない方に対する一斉伝達手段の確立～

緊急情報や避難情報の伝達には、携帯電話やスマートフォンのメールの活用が最も有効ですが、携帯電話等を持たない世帯に対する一斉伝達手段の確立が課題でした。

以上を踏まえ、山形市では「防災ラジオ」を災害等緊急時における情報伝達手段として活用を始め、平成28年度は実証実験的な取組として、緊急性の高い地域「融雪型火山泥流避難区域」の自主防災組織や希望世帯に配布し、活用状況を確認します。

今後は、「土砂災害警戒区域」及び「洪水浸水想定区域」を対象地域に拡げる予定です。



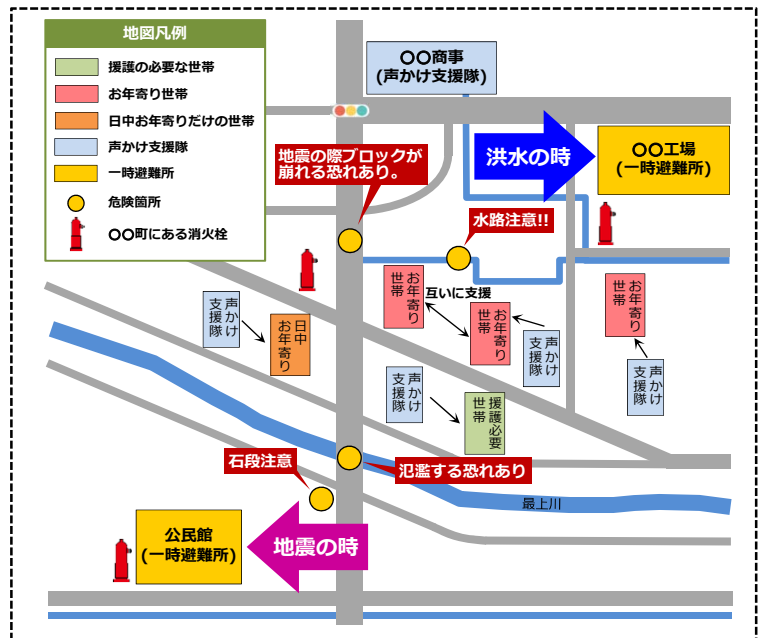
## 福祉防災マップの作成推進【高畠町】

### ～地域の要配慮者の把握と支え合い活動の取組～

高畠町では、集落ごとに住民が主体となり、防災福祉マップを整備しました。作成にあたっては、住民が自ら危険箇所の点検や避難経路の確認、要配慮者の所在及び支援体制等について検証し、町社会福祉協議会とも連携を図りながら策定しました。今後も実施可能な地区を拡大し、減災に係る取組を推進します。



▲ 防災福祉マップ作成状況



▲ 防災福祉マップのイメージ

## 報道関係者向け説明会を実施【山形河川国道事務所】

防災情報が複雑化、高度化する中、報道関係者を対象とした防災知識普及のための説明会を実施しました。

山形県内のテレビ局、新聞社各社に参加いただき、氾濫危険度に応じた基準水位やそれに伴い自治体が発令する避難情報との関係等について改めて確認していただきました。

### 【防災知識普及のための説明会】

- 日時 11月7日（月）9:00～10:30／11月14日（月）13:00～14:30 ※2回に分けて開催
- 場所 山形河川国道事務所
- 出席者 山形県内テレビ局、新聞社 計7社
- 内容 氾濫危険度に応じた基準水位と避難情報の関係  
洪水時の情報提供  
河川管理業務（出水時、平常時）  
災害対策室の紹介



▲ 説明会開催状況



▲ 災害対策室の紹介

### 編集後記

夏の暑さは何処へやら。11月に入り蔵王山では初冠雪を記録し、9日には昨年より16日早い初雪を観測。気が付けば秋を通り越し、一気に真冬のような寒さとなりました。

本号では最近の取組状況を紹介しましたが、関係各機関において様々な取組が行われています。紙面の関係上全て紹介することが出来ませんが、今後も参考となる事例や最新の話題などを発信し、減災に向けた取り組みを着実に進めていきたいと思っております。